

令和7年度 大阪府立生野支援学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時	令和7年11月17日（月） 10：00～12：00	
場 所	大阪府立生野支援学校 図書館	
出席者	委 員	多田 龍弘、宮下 敬史、早野 眞美、半田 工、奥村 貴寿
	学 校	国津 賢三（校長）、長尾 博行（教頭）、水川 久美子（教頭） 森 大介（首席）、岩城 智也（首席）、古本 景將（首席）、中野 貴啓（首席・中学部主事）、北川 裕紀子（小学部主事）、山川 了（研究部）
	傍聴人	1名
議 題	1. 「支援学校と地域との連携」について 2. 「ポジティブ行動支援を柱とした校内支援の推進」について 3. その他	
協議内容	開会時、高等部2年キャリアアップコース生徒による「茶育」の成果発表が行われた。 1. 学校長あいさつ 10月に小・中学部の修学旅行を実施したことを報告した。今後の予定としては、12月に高等部修学旅行、2月に文化祭と作品展を統合し、いくのフェスタとして実施することを説明した。 2. 「支援学校と地域との連携」について 大阪市立御幸森小学校の跡地に開業した「いくのパーク」のレストラン内で接客・販売した高等部での取組みについて説明した。どうしたらよく売れるのかと考えて、生徒のアイデアを元にカプセル自動販売機として用意し、商品の売り上げに繋がったことや今年度新たに校内で実施した福祉サービス事業所向けに校内農園で育てた野菜の販売学習を行ったことを報告した。 協議委員より、実践から商品に価値を作ることや社会の一員として接点を作ることの大切さについて助言を受けた。また、在学中に挨拶や報告・連絡・相談といったコミュニケーション力を様々な経験を通じて身に付けておくことが大切であるといった話があった。これからも学校から積極的に地域と関わる機会を作っていくように助言を受けた。 3. 「ポジティブ行動支援を柱とした校内支援の推進」について 昨年度、教育と福祉の連携事業として、ポジティブ行動支援のコンサルテーションを行ったことを報告した。年間を通して専門家による指導を受け、具体的な支援を実践した事例や今年度、コンサルテーションを通じて得た知見を広げていくための校内体制を整えていることを説明した。 協議委員より、ポジティブ行動支援に関する他校での実践の様子や課題について、紹介していただいた。低学年や高学年において取組みの受け止め方が違うことや教員の入れ替わりにより、取組みの背景や目的をどのようにして継承していくのかといった課題があることを共有した。さりげなく実践している教員に焦点を当てて共有していくことで、教員間での理解が広がっていくのではないかと助言を受けた。 4. 新校舎移転について 説明会の報告や地域での受け止め方など情報交換を行った。	
協議資料	「支援学校と地域との連携」について（スライド資料） 「ポジティブ行動支援を柱とした校内支援の推進」について（スライド資料）	
備 考	学校見学	